

平成 25 年 11 月 1 日

参 考 資 料

(県政・相模原・平塚・藤沢・厚木・大和記者クラブ、町田記者会同時発表)

第 2 回厚木飛行場からの空母艦載機の移駐等に関する協議会の開催結果について

本日、次のとおり標記協議会が開催されましたのでお知らせします。

- 1 日 時 平成 25 年 11 月 1 日 (金) 14 時 30 分 ~ 15 時 15 分
- 2 場 所 横浜第 2 合同庁舎 1 階 共用第 1 会議室 (横浜市中区北仲通 5-57)
- 3 出席者 南関東防衛局長、県副知事及び厚木飛行場周辺 9 市副市長等
- 4 結果概要
 - (1) 国からの説明
 - ア 10 月 3 日に開催された日米安全保障協議委員会における協議内容について
岩国飛行場の海上自衛隊が岩国飛行場に維持され、また、第 5 空母航空団の厚木飛行場から岩国飛行場への移駐が 2017(平成 29)年頃までに完了することについて、日米政府間で確認された。
 - イ 厚木飛行場からの空母艦載機の移駐に係る進捗状況について
岩国飛行場の施設整備状況に関しては 2017(平成 29)年頃までの移駐に向け、スケジュールどおりに進んでいる。岩国飛行場での訓練空域の調整を進めており、今回新たに祖生(そお)通信所地区の通信施設の整備状況について情報を追加した。また、コミュニティ地区の学校の整備に進展があった。
移駐を着実に推進するため、防衛省地方協力局地方調整課長をチーム長とする「空母艦載機の移駐等に関する事業推進チーム」を設置し、移駐の推進に向けた体制整備を行った。今後、同チームを中心に、内部部局及び機関の垣根を越え予算獲得や施設整備の工程管理を総合的に行い、移駐を着実に推進していきたい。
 - ウ 厚木飛行場周辺住民及び自治体の負担の軽減策について
厚木飛行場周辺の住宅防音工事について、平成 25 年度の計画を増額した。また、平成 25 年度執行額は、9 月末現在で、平成 24 年度の年間実績並みになっている。引き続き地域の負担軽減に向け、住宅防音工事の着実な実施に努力していきたい。
 - (2) 自治体からの発言
 - 地域住民の悲願である一日も早い移駐の実現に全力で取り組むとともに、移駐が遅延したことによる基地負担の軽減を図ることを望んでいる。
 - 空母艦載機の移駐については、住民の関心が極めて高いので、移駐実現後の厚木基地の姿も含め、今後とも時宜を捉えた情報提供を行うよう、お願いしたい。
 - 移駐等を着実に推進するため、防衛省に「空母艦載機の移駐等に関する事業推進チーム」が設置されたことは、負担軽減の道筋ができたものと受けとめた。これを契機として移駐の実現に向けた調整が促進されることを期待している。

問い合わせ先

厚木飛行場からの空母艦載機の移駐等に関する協議会事務局

(神奈川県政策局基地対策部基地対策課)

課 長 井上 (045)210-3370

対策推進グループ 浅岡 (045)210-3375